

泊小新聞

学校概要



【学校名】湯梨浜町立泊小学校
 【所在地】湯梨浜町泊280番地
 【校長名】岡本律子
 【児童数】123人
 【教育目標】
 生き生きと自分らしく未来を拓く
 子どもの育成

【沿革】
 1872年 11月29日開校
 1988年 現在地に移転・新校舎竣工式開催
 2022年 150周年記念式典を開催



伝わることを大切に



泊小の5年生は昨年6月5日、手話普及支援員3人を講師に招いて「手話学習」を行った。手話は耳が不自由な人のコミュニケーション方法の一つで、手の形や動き、表情によって会話をしている。手話以外に、文字を表示させるディスプレイのレクリアや筆談、電話リレーサービスのほか、テレビでは字幕などがあり、耳が不自由な人にも伝える方法はいくつもあることを知った。しかし、耳が不自由な手話を学ぶ児童も

学習発表会で手話の歌披露

人たちは、災害が起こったときにサインなどにより伝えることが、避難が遅れる可能性が高い。そのため、周りの人たちが何か起こった時には伝えてあげる必要があることも学んだ。昨年9月25日には、福祉学習の学びを学習発表会で披露するため、手話支援員2人から歌「ピリッ」の手話を教わった。同支援員は「手話は踊りではない。聴覚障害者にとって大切なコミュニケーション方法だから、伝えることを大切に表現して」と説明した。5年生は意識を変え、学習の成果を發揮して発表した。(清水春陽、荒川陽菜、琉、倉永あじ)

あいサポートを学ぶ

視覚障害者を体験



アイマスクを着けたまま歩く児童(左)とサポートする児童

泊小の5年生は昨年5月29日、「あいサポート学習」を行った。湯梨浜町長和田のゆりはま平園の石田留美さんを講師に招き、視覚障害のある人の感じ方やサポートの仕方等を学んだ。あいサポートは、障害があってもなくても暮らしやすい生活を送れることを目指す運動のこと。この日は視覚障害者を中心に取り上げ、DVを使いながら学習。ほかに、この日は視覚障害者のことを中心に取り上げ、DVを使いながら学習。ほかに、アイマスクを着けて歩く体験をした古川空さんは「目が見えないと周りが全然分からなくて怖かったです」と話した。(松田晃巳、山田俊介、長浜陽、米村椋)

優しく教え 楽しく遊ぶ

園児と交流深める



しっぽ取りを楽しむ園児と児童ら

あさひこども園 泊小の5年生21人は昨年10月29日、湯梨浜町泊のあさひこども園の園児12人と交流し、園児との関わり方を学んだ。児童は読み聞かせやフルーツバスケット、だるまごころんど、鬼ごっこなどを通して、園児と交流を深めた。フルーツバスケットでは、児童が園児に優しく接し、困っている園児に声をかけたり、いすを譲ったりして園児が楽しめるように工夫した。(桜井七帆、北原優、古川一星)

わかばこども園 湯梨浜町宇谷の「わかばこども園」の園児と泊小の5年生の交流会が昨年11月14日、同園であった。読み聞かせやしっぽ取りなどの遊びを行い、園児と楽しく交流した。だるまごころんどは、5年生が園児と手をつないで一緒に動いたり、やり方を教えてあげたりして、園児は楽しそうに遊んでいた。しっぽ取りは、逃げる人がロープで作ったしっぽを腰に付け、鬼がしっぽを取ったら捕まる遊び。鬼役の人は、必死に逃げる人のしっぽを取ろうと追いかけた。また、フルーツバスケットもして、園児と5年生の仲を深めた。

読み聞かせをする児童と真剣に聞く園児ら



読み聞かせをする児童と真剣に聞く園児ら

しっぽ取りは、逃げる人がロープで作ったしっぽを腰に付け、鬼がしっぽを取ったら捕まる遊び。鬼役の人は、必死に逃げる人のしっぽを取ろうと追いかけた。また、フルーツバスケットもして、園児と5年生の仲を深めた。5年の島崎一星さんは「来年4月に入学する時に分からないことや困ったことがあれば、6年生として優しく教えてあげたい」と話した。(前田結菜、古川空、島崎一星)

泊小の特色

全校児童みんなで GG大会や給食

泊小では、全校で湯梨浜町泊地域が発祥地のグラウンドゴルフをプレーしたり、給食をランチルームで一緒に食べたりして、異学年の交流を図っているのが特色の一つだ。全校児童が参加する「なこよしグラウンドゴルフ大会」が昨年11月1日、同校近くの潮風の丘とまりで開かれた。異学年の児童と交流を深め、地域の人と一緒にプレーを楽しみながら、故郷「泊」を誇りに思う心を育てている。また、全校児童は毎日、ランチルームで学校給食を食べている。先生とも楽しく過ごすことができる場所で、出来たてのおいしい給食を味わえる。町内で作られた食材が多く使われており、よりおいしく感じられる。(米原春希、川本紀織、桜井篤)



グラウンドゴルフを楽しむ児童ら

編集後記

私たちが作りました。

5年生は総合的な学習の時間で、福祉について学んできた。あいサポート学習や手話学習、こども園での交流を行い、福祉の学びを深めた。これらの内容を泊小の特色を学校新聞で紹介しよう、と、それぞれ記事にまとめた。自分たちは学校概要も調べて書いた。この新聞で泊小のことを多くの人に知ってほしい。(徳井紗菜、渡辺麻央、中田悠翔)

思いやりの心育む

福祉委員会「人権の花」の苗植え

泊小の児童は、花を育てることで命の大切さや思いやりの心を育む「人権の花」活動に取り組んだ。昨年5月13日、湯梨浜町のボランティア5人が学校を訪れて「人権の花」を贈呈。福祉委員会の児童7人が受け取り、プランターや玄関前の花壇に花の苗と一緒に植えた。その後、同委員会の児童が積極的に水やりなどに取り組んで花を育てた。委員の米原春希さん「5年」は「この花が元気で咲き続けるといいな」と話した。(浜田雪希、箱崎湊人)

5年生が作った新聞です